

技術士業務研究会／2022年（令和4年）7月度例会

☆開催日時：2022年（令和4年）7月8日（金） 19:00～21:30

☆開催場所：ZOOM を使った Web 例会につき、各自の PC 等でご参加願います

・開会挨拶（19:00～19:05） 部会長 細谷 陽三（金属）

・講演 1 （19:05～20:10）（講演 50 分、質疑応答 15 分）
『不具合の原因究明・真因解析、不具合対策』

技術士（化学部門）小田 慎吾 氏

【概要】

不具合の真因解析手法として「なぜなぜ分析」が広く知られている。しかし、なぜなぜ分析のシートを使っても真因にたどり着けない事例や、真因にたどり着いても改善の効果が上がらない事例が散見される。

なぜなぜ分析手法において、真因にたどり着くためのポイントは何か、見出した真因を組織内で有効な改善に導くためのポイントは何かについての考えを披露し、講師が開発し大きな成果を上げた手法を紹介するとともに、より良い方法について議論したい。

・講演 2 （20:15～21:20）（講演 50 分、質疑応答 15 分）

『化学研究業務における DX 化の実現』

技術士（情報工学部門）有田 正博 氏

【概要】

薬品、化学における技術事項として、二次元及び三次元化学構造の表現、化学構造検索、化学計算（経験的、半経験的計算、量子化学、分子動力学）、化学構造式からの物性予測の基本的な技術について解説します。

また、最近の研究業務で使用されるアプリケーションとしてクラウド版電子ノートについて紹介し、研究業務の DX 化における課題や導入のコツについて解説します。

・業務研究会連絡事項（21:20～21:30）

☆Zoom による Web 例会参加方法

①「Zoom」アプリをインストールしているカメラ・マイク・スピーカー付の PC またはスマホ・タブレットをご準備ください。

②参加者に事前に送付する招待メールにある「長い URL」をクリックすれば、会議に参加できます。

◇講演会参加費 技術士業務研究会会員：無料 技術士業務研究会非会員：500 円
近畿本部パスポート保持者：無料
（日本技術士会近畿本部合格者祝賀会に参加された新合格者に配布）

例会後に請求書（振込先・振込方法を記載）を送付いたします。
支払期限：月末 振込手数料：自己負担

◇申 込 下記 HP からお申し込み下さい。メールでの申し込み不可。
業務研 HP <https://sites.google.com/site/gyoumuken/>

【講師経歴】

小田 慎吾 (おだ しんご)

<生年月日>

1952年3月16日

<学歴>

1974年 京都大学工学部 石油化学科卒業

1976年 東京大学大学院 工学系研究科 工業化学専攻 修士課程修了

<職歴>

1976年 (株)ダイセル中央研究所に入社、錯体触媒の調査・研究

1978年 大竹工場技術部、過酢酸を用いるエポキシ化合物の製造工程開発

1984年 東京本社研究開発企画部、通産省シーワンプロジェクト幹事

1991年 総合研究所有機合成触媒研究所所長、COを原料とする触媒開発

1995年 播磨工場技術開発センター所長、エアバッグインフレーター開発

2007年 ダイセルセイフティシステムズ品質保証担当役員

2017年 ダイセル退社、小田技術士事務所開設

<所属学協会>

日本技術士会、日本化学会、火薬学会

<受賞>

日本化学会 平成12年度(第49回)化学技術賞受賞

<資格>

技術士(化学部門)、高圧ガス製造保安責任者(甲種化学)、高圧ガス販売主任者、
危険物取扱者(甲種)

有田 正博 (ありた まさひろ)

広島県生まれ

<学歴>

愛媛大学 工学部 資源化学科卒業

<職歴>

1984年 富士通株式会社入社、富士ファコム制御出向 工業技術院大阪工業試験所、日本新薬
などを担当。

1993年 富士通株式会社復職、科学システム統括部コンピュータケミストリシステム部

2022年 富士通株式会社Digital Laboratory Platformプリセールス部

<所属学協会>

日本技術士会、富士通技術士会

<資格>

1999年 技術士(情報工学)、1998年 高度情報処理技術者システムアナリスト、2003年 ITコー
ディネーター

<専門分野>

分子設計、分子作画、化合物・反応データベース、分子モデリング、計算化学

<著書>

単著

2002年 ChemDraw7.0徹底活用ガイド 化学同人刊

2022年予定 ChemDraw入門 技術評論社刊

監修

ChemDrawユーザーズガイド、Chem3Dユーザーズガイド、ChemFinderユーザーズガイド

<投稿>

化学と教育 日本化学会刊

<講師>

京都大学、神戸大学、奈良先端大学院大学、立命館大学、九州大学等

<講演>

ヘルスケアIT、化学工学物性定数の最近の動向 分離技術会 化学、薬品企業等

以上